

ありがたみ

奈良市立一条高等学校附属中学校三年

矢追 芽依

私達の生活の中で水とはどのような存在だろうか。起床してからまず顔を洗う、歯磨きをする、朝食を摂る。一日たりとも水なしで生活をしたことはない。そもそも、人間の半分以上は水でできているのだから、水なしで生きていくことはできないだろう。つまり、水は私達の生活に必要不可欠な存在だと言える。

しかし、水のありがたみを噛みしめながら毎日の生活をおくっている人は、この日本にどれだけいるだろうか。きつと、多くの日本人は誰かに命令されない限り、水のありがたみなど考えようとしてもしないのではないだろうか。実際、私も授業で水について取り扱ったり、この作文という課題が出されたりしなければ、水について考えることはなかっただろう。その原因は日本が水に恵まれているからだ。では、水に恵まれていない国の人々の生活はどのようなもの

なのだろうか。

二〇二〇年時点で、世界で約二十二億人が水問題に悩まされている。水問題とは、単に「水不足」というだけではない。水があつたとしても、上下水道の設備が整っておらず、汚い水しか得ることができないことや、水をめぐった紛争なども水問題だ。このような水問題によつて、毎日何百人もの人々が亡くなっている。

そして、住んでいる場所の近くに水がない場合、毎日八時間もかけて水を汲みに行っている少女もいる。彼女は一日の三分の一の時間を家族の為に使っているのだ。しかし、そのように苦勞して得た水でさえも、多くの菌が潜んでいゝる不衛生な水なのだ。

なぜ、全ての国が日本のように水に恵まれていないのか。その原因はいくつか挙げられる。例えば、技術不足、人口増加による水の使用量の増加、地球温暖化、紛争などだ。紛争については、水や土地を求めて紛争が起こり、それによつて水源が破壊され、さらに水不足が深刻化

するという悪循環が起こっている。これらの原因によって何の罪もない人々が水不足に悩まされている。

水問題の解決法は、「水のありがたみを理解する」ということだと私は考える。一見、何の意味もないように感じられるかもしれない。しかし、水のありがたみを理解することで挙げられるメリットは2つある。

一つ目は、節水につながることだ。節水した水が直接水問題に悩まされている人々に届くわけではない。しかし節水することで、浄水、供給、下水処理などに消費されているエネルギーを節約し、二酸化炭素の排出が抑えられ、地球温暖化の解決に近づく。地球温暖化は水問題の原因の一つに挙げられている。つまり、間接的に水問題の解決につながるのだ。

二つ目は、水への関心が高まることだ。このことで、水問題は日本とは無縁の問題だと捉えるのではなく、日本はたまたま水に恵まれているだけだと自覚する人が増えると考えられる。

そして、水問題の解決方法を考える人が増えれば、より早く解決にたどり着くだろう。

このように、「水のありがたみを理解する」という小さな心がけが、世界を動かす原動力になるかもしれない。私は、水問題について考える中で、当たり前前の存在であった水への「ありがたみ」を感じ、関心を持つことができた。「ありがたみ」つまり、感謝の気持ちは、水問題だけでなく、様々な世界問題の解決の糸口になるかもしれない。